

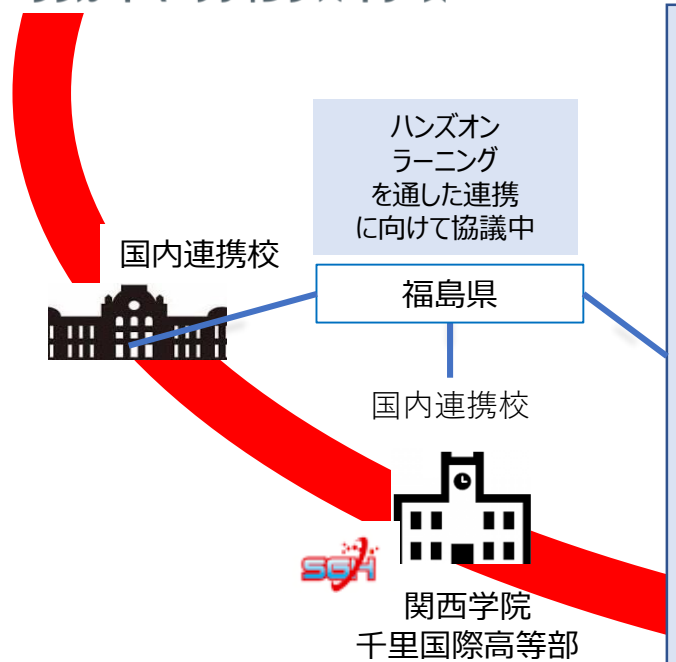
# “AI活用 for SDGs”

「地球と人類に貢献する  
平和構築のための学び」  
～Society 5.0に向けた  
WWLCリーディング・プロジェクト～



オンラインにおける「AI活用入門講座  
開講」を通じた連携

**RECRUIT**  
リクルートマーケティングパートナーズ



## 関西学院・関西学院大学

### A Iネットワーク・プログラム

“AI活用 for SDGs” ～Society 5.0に向けたWWLCリーディング・プロジェクト～

(関西学院大学 スーパーグローバル大学)

- 1) WWL・A I 活用人材育成プログラム
- 2) S D G s ・地域課題等社会課題を解決するための実践的な学びへの支援、STEAM系の「探究・課題研究」への支援（講師派遣等）
- 3) アドバンスドプレースメント（単位履修・高大連携科目）
- 4) Harvard College Japan Initiative X 関西学院大学ワークショップ
- 5) 高校生公開討論会
- 6) 関西学院世界市民明石塾
- 7) 探究甲子園（仮称）
- 8) 高校生国際交流のつどい
- 9) テーマに基づく国際会議

(管理機関 関西学院)

継続を担保する人的・財政的支援

(管理機関 学校法人 関西学院) 継続を担保する人的・財政的支援

(関西学院大学)

ハンズオンラーニングを軸とした、平和・SDGsを志向する課題探究型カリキュラムの開発



### 拠点校：関西学院高等部

研究開発・実践テーマ：“AI活用 for SDGs”

「地球と人類に貢献する平和構築のための学び」

- 1) 全学年において文理科目をバランス良く配置し、授業・課外活動双方において、平和やSDGsをキーワードとした、教科横断型で体系的なカリキュラムを開発する。
- 2) 高校1年次は、SGHから継続するGLP（グローバル・リーダープログラム）を継続。適性に関心のある生徒を対象とし、知識の修得・活用・探究のバランスを考慮しながら、AI活用・国際協働・ハンズオンラーニングの基礎を学ぶ。
- 3) 高校2年次には、1年次のGLPメンバーを核として、「AI活用演習」「グローバルスタディ」「ハンズオンラーニング」等を必修選択科目として開講し、対象となる生徒を増やす。大学教員・外国人講師もそれら授業を担当する。
- 4) 高校3年次には、選択科目として高校2年次の発展形を用意し、更に対象生徒を増やす。国内・海外でのフィールドスタディ等を踏まえ、連携校とそれぞれの知見を活かし、平和構築に向けた国際シンポジウムを開催する。
- 5) ICT環境を活かし、全ての生徒が授業・課外活動双方において効果的にeポートフォリオを活用する。質の高いポートフォリオによる振り返りを重ね、次の活動につなげるよう導くことで、生徒の主体性を育てていく。
- 6) 海外の高等学校とのフィールドスタディを含めた英語での探究活動や、インターナショナルスクール等との国内外での研修等をカリキュラムの中に体系的に位置づけていく中で、海外大学進学等を含めた多様な進路を視野に入れる。
- 7) 関西学院大学による、選択科目としての様々な講座提供により、文系理系を問わずより高度な内容を学びたい高校生が学習できる環境整備を行う。なお、その際に一部の科目については、関西学院大学による単位認定も可能とする。



GLOBAL LINKを通じた連携

インドネシア  
ハラパン高校  
連携校



オーストラリア  
カンボジア  
連携校



eポートフォリオを活用  
した主体性評価を通じた  
海外連携校との連携

